

表G 個々の問題の概要及びその通過率

表G-1 小学校国語第5学年

評価の観点

- 1 国語への関心・意欲・態度
- 2 話す・聞く能力
- 3 書く能力
- 4 読む能力
- 5 言語についての知識・理解・技能

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点					過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4	5					
A	1	一	1	B書くことア	・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。								77.7	78.5	80
A	1	二	2	B書くことイ	・全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。								79.9	79.6	75
A	1	三	3	B書くことア B書くことエ	・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。 ・事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。								79.7	78.3	75
A	2	一 (1)	4	C読むことア C読むことイ	・自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むこと。 ・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。								75.1	74.6	85
A	2	一 (2)	5	C読むことア C読むことイ	ア 自分の考えを広げたり深めたりするために、必要な図書資料を選んで読むこと。 イ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。								77.7	74.8	85
A	2	二	6	C読むことイ C読むことオ	・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。 ・必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。								58.6	50.7	65
A	2	三	7	C読むことイ	・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。								70.6	66.9	80
A	2	四	8	C読むことオ	・必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。								55.0	52.5	80
A	2	五	9	C読むことイ C読むことエ	・目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。 ・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。								54.6	52.4	70
A	3	一 (1)	10	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。協(4年)力(1年)								93.5	91.9	85
A	3	一 (2)	11	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。必(4年)								83.8	81.9	85
A	3	一 (3)	12	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。約束(4年)								77.6	82.0	85
A	3	一 (4)	13	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。続(4年)								83.3	82.6	85

表G-1 小学校国語第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点					過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4	5					
A	3	— (5)	14	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。判(5年)断(5年)								49.3	55.0	80
A	3	— (6)	15	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。久しぶり(5年)								80.5	79.2	80
A	3	— (7)	16	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。編(5年)集(3年)								44.2	47.8	75
A	3	二 (1)	17	言語事項(1) ウ(エ)	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。								98.6	98.2	90
A	3	二 (2)	18	言語事項(1) ウ(エ)	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。								98.9	98.4	90
A	3	二 (3)	19	言語事項(1) ウ(エ)	・語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつこと。								98.0	97.0	90
B	1	—	1	B書くことイ B書くことウ	・全体を見通して、書く必要のある事柄を整理すること。 ・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えること。								73.4	72.8	75
B	1	二	2	B書くことエ B書くことア	・事象と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。 ・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。								66.1	66.3	55
B	1	三	3	B書くことオ	・表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。								77.3	75.1	80
B	1	四	4	B書くことア	・目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと。								86.4	82.3	85
B	2	—	5	A話すこと・ 聞くことウ	・自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。								80.0	72.9	75
B	2	二 (1)	6	A話すこと・ 聞くことア	・考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。								96.5	95.5	90
B	2	二 (2)	7	A話すこと・ 聞くことア	・考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。								94.3	93.5	90
B	2	三	8	A話すこと・ 聞くことイ	・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。								86.3	82.7	80
B	2	四	9	A話すこと・ 聞くことア	・考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。								78.0	71.1	70
B	2	五	10	A話すこと・ 聞くことア	・考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。								56.2	53.8	55
B	3	— (1)	11	言語事項(1) ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。								91.1	87.4	85
B	3	— (2)	12	言語事項(1) ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。								90.6	89.5	85

表G-1 小学校国語第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点					過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4	5					
B	3	一 (3)	13	言語事項(1) ウ(イ)	・語句の構成,変化などについての理解を深め,また,語句の由来などに関心をもつこと。								85.6	83.3	85
B	3	一 (4)	14	言語事項(1) ウ(イ)	・語句の構成,変化などについての理解を深め,また,語句の由来などに関心をもつこと。								92.4	92.4	90
B	3	一 (5)	15	言語事項(1) ウ(イ)	・語句の構成,変化などについての理解を深め,また,語句の由来などに関心をもつこと。								84.6	83.6	90
B	3	二 (1)	16	言語事項(1) ウ(ウ)	・表現したり理解したりするために必要な語句について,辞書を利用して調べる習慣を付けること。								93.3	89.9	85
B	3	二 (2)	17	言語事項(1) ウ(ウ)	・表現したり理解したりするために必要な語句について,辞書を利用して調べる習慣を付けること。								56.4	52.4	55
B	3	二 (3)	18	言語事項(1) ウ(ウ)	・表現したり理解したりするために必要な語句について,辞書を利用して調べる習慣を付けること。								65.3	60.0	55
B	3	三 (1)	19	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き,文や文章の中で使うとともに,当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。								85.4	83.2	75
B	3	三 (2)	20	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き,文や文章の中で使うとともに,当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。								81.7	85.8	75
B	3	三 (3)	21	言語事項(1) ア(ア)	・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き,文や文章の中で使うとともに,当該学年に配当されている漢字を漸次書くようにすること。								77.9	71.0	75
C	1	一	1	A話すこと・聞くことイ	・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。								81.0	83.7	60
C	1	二	2	A話すこと・聞くことイ	・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。								80.3	75.4	80
C	1	三 (1)	3	A話すこと・聞くことイ	・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。								99.2	98.5	90
C	1	三 (2)	4	A話すこと・聞くことイ	・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。								99.0	99.3	90
C	1	四	5	A話すこと・聞くことア A話すこと・聞くことウ	・考えた事や自分の意図が分かるように話の組立てを工夫しながら,目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。 ・自分の立場や意図をはっきりさせながら,計画的に話し合うこと。								43.9	47.0	55
C	2	一	6	C読むことウ	・登場人物の心情や場面についての描写など,優れた叙述を味わいながら読むこと。								89.4	88.0	85
C	2	二	7	C読むことイ C読むことウ	・目的や意図などに応じて,文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。 ・登場人物の心情や場面についての描写など,優れた叙述を味わいながら読むこと。								48.5	48.1	60
C	2	三	8	C読むことウ	・登場人物の心情や場面についての描写など,優れた叙述を味わいながら読むこと。								41.6	40.9	65

表G-1 小学校国語第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点					過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率	
						1	2	3	4	5						
C	2	四	9	C読むことウ C読むことエ	・登場人物の心情や場面についての描写など、優れた叙述を味わいながら読むこと。 ・書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。								71.9	69.9	60	
C	3	一 (1)	10	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。保護(5年)									98.0	95.8	90
C	3	一 (2)	11	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。移(5年)動(3年)									97.9	96.1	90
C	3	一 (3)	12	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。日(1年)程(5年)									87.1	81.2	90
C	3	一 (4)	13	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。混雑(5年)									95.7	92.5	90
C	3	一 (5)	14	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。慣(5年)									96.1	93.4	90
C	3	一 (6)	15	言語事項(1)ア(ア)	・学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。許(5年)									96.0	93.9	90
C	3	二 (1)	16	言語事項(1)ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。									95.3	90.3	90
C	3	二 (2)	17	言語事項(1)ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。									94.6	87.1	90
C	3	二 (3)	18	言語事項(1)ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。									98.2	92.2	95
C	3	二 (4)	19	言語事項(1)ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。									96.3	89.0	90
C	3	二 (5)	20	言語事項(1)ウ(イ)	・語句の構成、変化などについての理解を深め、また、語句の由来などに関心をもつこと。									96.0	89.9	90

表G 個々の問題の概要及びその通過率

表G-3 小学校社会第5学年

評価の観点  
 1 社会的事象への関心・意欲・態度  
 2 社会的な思考・判断  
 3 観察・資料活用 of 技能・表現  
 4 社会的事象についての知識・理解

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
A	1	(1)	1	(1)ア	資料から、食料の自給の様子を読み取ることができる。							88.3	84.5	75
A	1	(2)	2	(1)ア	小麦の輸入先であるアメリカ合衆国の名称と位置を理解している。							75.7	76.7	70
A	1	(2)	3	(1)ア	小麦の輸入先であるオーストラリアの名称と位置を理解している。							49.3	53.1	70
A	1	(3)	4	(1)ア	これからの食料確保のあり方について考えることができる。							69.3	69.9	65
A	2	(1) ア	5	(1)ウ	資料から、稲作の工夫の様子を読み取ることができる。							74.1	76.1	75
A	2	(1) イ	6	(1)ウ	資料から、稲作の工夫の様子を読み取ることができる。							75.5	76.1	75
A	2	(2)	7	(1)ウ	稲作の農作業の時間の変化と関連する資料を選択することができる。							73.5	75.2	75
A	3	(1)	8	(1)ウ	資料から、輸送経路を読み取ることができる。							82.0	79.3	80
A	3	(2)	9	(1)ウ	生産地と消費地を結び運輸の働きを理解している。							79.3	80.1	75
A	3	(3)	10	(1)ウ	新鮮な魚を早く運ぶための工夫を理解している。							76.8	73.8	75
A	4	(1)	11	(2)イ	製品による工業の分類の仕方を理解している。							87.6	89.3	75
A	4	(2)	12	(2)イ	資料から、日本の工業の特色を読み取ることができる。							74.6	76.3	75
A	4	(3)	13	(2)イ	資料から、日本の工業の特色を読み取ることができる。							77.4	80.3	65
A	5	(1)	14	(2)ウ	自動車工場で働く人々の工夫を調べる方法を理解している。							77.8	79.5	75
A	5	(2)	15	(2)ウ	自動車生産の工夫の共通点を考えることができる。							68.4	64.7	70
A	5	(3) ア	16	(2)ウ	自動車生産に携わる人々の工夫の意味を考えることができる。							82.1	79.4	75
A	5	(3) イ	17	(2)ウ	自動車生産に携わる人々の工夫の意味を考えることができる。							84.5	80.8	75
A	6	(1)	18	(3)ア	産業活動における情報の活用について理解している。							82.4	84.8	75
A	6	(2)	19	(3)ア	産業における情報の利用について、自分の考えを述べている。							72.1	73.0	65
A	6	(3)	20	(3)ア	学習における情報の有効な活用の仕方を理解している。							87.0	84.9	75
A	7	(1)	21	(4)ア	地図を活用し、およその距離を求めることができる。							62.5	60.7	60
A	7	(2)	22	(4)ア	地図帳を活用し、近隣諸国の位置を調べることができる。							87.4	88.7	70
A	7	(3)	23	(4)ア	地図を活用し、那覇市のおよその緯度を調べることができる。							53.7	56.5	60
A	7	(4)	24	(4)ア	地図を活用し、海流の名前を調べることができる。							66.1	66.0	70

表G-3 小学校社会第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
A	8	(1)	25	(4)ア	直接行くことができない地域の様子を調べる方法を理解している。							88.8	88.7	75
A	8	(2)	26	(4)ア	気候に適応した沖縄県の人々の暮らしの工夫について理解している。							92.8	92.6	75
A	8	(3)	27	(4)ア	気候に適応した北海道の人々の暮らしの工夫について理解している。							67.8	79.5	75
B	1	(1)	1	(1)イ	野菜の生産地を調べる方法を理解している。							68.7	71.1	75
B	1	(2)	2	(1)イ	畜産物の生産と自然環境との関係を理解している。							90.1	88.4	80
B	1	(3) ア	3	(1)イ	資料から、主な果物の生産地を読み取ることができる。							77.5	75.8	75
B	1	(3) イ	4	(1)イ	資料から、主な果物の生産地を読み取ることができる。							81.8	80.7	75
B	1	(4)	5	(1)イ	食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解している。							85.5	86.3	70
B	2	(1)	6	(1)ウ	資料から、稲作の盛んな地域の工夫を読み取ることができる。							86.7	83.5	75
B	2	(2)	7	(1)ウ	品種改良について理解している。							45.5	43.9	65
B	2	(3)	8	(1)ウ	稲作の工夫の共通点を考えることができる。							86.4	86.7	75
B	3	(1)	9	(2)イ	主な工業地帯、工業地域の分布の特色を理解している。							80.2	83.1	75
B	3	(2)	10	(2)イ	資料から、日本の工業の特色を読み取ることができる。							63.1	56.0	75
B	3	(3)	11	(2)イ	これからの日本の工業生産の在り方を考えることができる。							76.4	74.1	75
B	4	(1)	12	(2)ウ	海の近くに工場が建てられている理由を理解している。							85.2	85.3	75
B	4	(2)	13	(2)ウ	自動車が組み立てられる順序を理解している。							48.9	62.8	65
B	4	(3) ア	14	(2)ウ	自動車工場働く人々の工夫や努力を理解している。							70.3	76.8	70
B	4	(3) イ	15	(2)ウ	自動車工場働く人々の工夫や努力を理解している。							74.7	76.9	70
B	4	(4)	16	(2)ウ	海上輸送の特色やよさについて、自分の考えを述べている。							76.3	77.6	65
B	5	ア	17	(2)ウ	資料から、国内で生産された自動車の送り先を読み取ることができる。							85.6	83.9	80
B	5	イ	18	(2)ウ	資料から、国内で生産された自動車の送り先を読み取ることができる。							81.9	81.8	80
B	6	(1) ア	19	(4)ア	国土を構成する島の名前を理解している。							45.2	48.4	80
B	6	(1) イ	20	(4)ア	国土の地形の特色を理解している。							65.7	65.8	75
B	6	(2)	21	(4)ア	国土の気候の特色を理解している。							86.4	80.1	75
B	7	(1)	22	(3)イ	情報を伝える人々の仕事の工夫や努力を理解している。							89.6	89.7	75
B	7	(2)	23	(3)イ	情報を伝える仕事の工夫について、自分の考えを述べている。							65.7	71.1	65
B	8	(1)	24	(4)イ	公害を防ぐ努力を理解している。							88.4	76.0	80

表G-3 小学校社会第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
B	8	(2)	25	(4)イ	年表から出来事の共通点を読み取ることができる。							74.3	73.4	70
B	8	(3)	26	(4)イ	資料から、環境を守るための国の働きを読み取ることができる。							67.7	67.4	70
B	9	(1)	27	(4)ア	地図帳を活用して地名を検索することができる。							80.2	81.6	70
B	9	(2)	28	(4)ア	地図帳を活用して地名を検索することができる。							73.7	73.7	65
C	1	(1)	1	(1)イ	資料から水揚げ量の多い港を読み取ることができる。							68.1	65.2	70
C	1	(2)	2	(1)イ	資料から、主な漁港の分布を読み取ることができる。							79.8	80.3	70
C	1	(3)	3	(1)イ	よい漁場の条件を理解している。							64.6	71.7	70
C	2	(1)	4	(1)ウ	資料から、漁獲量の変化を読み取ることができる。							89.7	87.8	75
C	2	(2)	5	(1)ウ	漁獲量の変化と県の取組との関連を考えることができる。							66.0	60.3	70
C	2	(3)	6	(1)ウ	漁業で働く人々の取組の目的を理解している。							74.7	75.4	75
C	3	(1)	7	(2)ア	資料から、工業製品の普及の様子を読み取ることができる。							86.3	86.8	80
C	3	(2)	8	(2)ア	工業製品の普及と国民生活との関連を考えることができる。							87.4	87.8	75
C	3	(2)	9	(2)ア	自動車の普及に伴う問題点を考えることができる。							89.0	90.4	70
C	4	(1) ア	10	(2)ウ	資料から、鉄鉱石の輸入先を読み取ることができる。							87.5	86.8	75
C	4	(1) イ	11	(2)ウ	資料から、石油の輸入先を読み取ることができる。							86.4	86.7	75
C	4	(2)	12	(2)ウ	石油の輸送経路を理解している。							47.0	44.2	70
C	4	(3)	13	(2)ウ	石油の輸送手段を理解している。							63.2	49.9	75
C	5	(1)	14	(3)ア	情報を伝達する手段を一定の観点で分類することができる。							77.4	72.9	75
C	5	(2) ア	15	(3)ア	放送、新聞、電話の特色を理解している。							94.2	92.1	75
C	5	(2) イ	16	(3)ア	放送、新聞、電話の特色を理解している。							89.8	89.1	75
C	5	(3)	17	(3)ア	情報の活用について、根拠をもって自分の考えを述べている。							84.5	86.7	70
C	6	(1)	18	(3)イ	資料から、情報を伝える人々の仕事の様子を読み取ることができる。							89.5	89.4	70
C	6	(2)	19	(3)イ	情報を伝える人々の仕事の相互の関連を考えることができる。							81.6	81.8	75
C	6	(3)	20	(3)イ	情報を伝える人々の工夫や努力を理解している。							71.9	73.0	70
C	7	(1)	21	(4)ア	冬の降水量が多い理由を理解している。							68.3	64.3	75
C	7	(2)	22	(4)ア	気候に適應した家のつくりの共通点を考えることができる。							56.3	48.0	60
C	7	(3)	23	(4)ア	雪国の暮らしへの関心について、根拠をもって自分の考えを述べている。							77.3	78.9	70

表G-3 小学校社会第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
C	8	(1)	24	(4)ウ	資料から、国土全体に占める森林の面積の割合を読み取ることができる。							90.5	89.1	80
C	8	(2)	25	(4)ウ	森林の働きを理解している。							79.5	84.7	75
C	8	(3)	26	(4)ウ	資料から、森林を育てる仕事の特徴を読み取ることができる。							75.2	73.9	75
C	9	(1)	27	(4)ア	都道府県の構成を理解している。							46.2	47.7	65
C	9	(2)	28	(4)ア	都道府県の構成を理解している。							38.4	43.7	65
C	9	(3)	29	(4)ア	都道府県の構成を理解している。							78.3	79.9	70

表G 個々の問題の概要及びその通過率

表G-5 小学校算数第5学年

評価の観点

- 1 算数への関心・意欲・態度
- 2 数学的な考え方
- 3 数量や図形についての表現・処理
- 4 数量や図形についての知識・理解

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
A	1	(1)	1	数と計算(4)エ	同分母分数の加法の計算をすることができる							95.8	97.5	90
A	1	(2)	2	数と計算(3)ウ	小数の乗法の計算をすることができる							76.8	79.5	75
A	1	(3)	3	数と計算(3)ウ	小数の除法の計算をすることができる							56.2	68.1	70
A	1	(4)	4	数と計算(4)ウ	商を分数で表す整数の除法の計算をすることができる							50.7	69.3	75
A	2	(1)	5	数と計算(1)ア	奇数の意味について理解している							87.2	86.1	80
A	2	(2)	6	数と計算(1)ア	偶数、奇数を判断することができる							84.2	78.6	75
A	3	(1)	7	数と計算(3)イ	小数の乗法における乗数と積の関係を考えることができる							73.5	80.5	60
A	3	(2)	8	数と計算(3)イ	小数の乗法における乗数と積の関係を考えることができる							77.6	83.4	60
A	4	(1)	9	数と計算(4)ア	大きさの等しい分数について理解している							85.7	85.5	80
A	4	(2)	10	数と計算(4)イ	分数を小数で表すことができる							58.2	60.5	65
A	5		11	数と計算(3)イ	小数の乗法の意味について理解している							65.0	70.8	70
A	6		12	数量関係(1)ア	四則に関して成り立つ性質を活用できる							47.3	53.4	70
A	7		13	量と測定(1)ア	平行四辺形の面積の求め方について理解している							67.0	73.5	70
A	8	(1)	14	量と測定(1)ア	三角形の面積を求めることができる							51.1	56.9	70
A	8	(1)	15	量と測定(1)ア	三角形の面積を求めることができる							53.3	57.9	70
A	8	(2)	16	量と測定(1)ア	図形の面積について考えることができる							89.1	89.4	85
A	9	(1)	17	量と測定(1)イ	円の面積の求め方について理解している							70.0	76.4	75
A	9	(2)	18	量と測定(1)イ	円の面積の求め方について理解している							47.0	56.5	70
A	10	(1)	19	図形(1)ア	垂直な直線を作図することができる							81.3	81.1	80
A	10	(2)	20	図形(1)ア	平行な直線を作図することができる							85.8	79.1	75
A	11	(1)	21	図形(1)イ	平行四辺形について理解している							75.6	80.2	80
A	11	(2)	22	図形(1)ウ	平行四辺形の性質について理解している							59.0	60.4	70
A	12	(1)	23	図形(1)ウ	三角形の性質について理解している							65.4	67.5	75
A	12	(2)	24	図形(1)ウ	図形の性質を調べることができる							90.8	89.1	80

表G-5 小学校算数第5学年

冊子	問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
					1	2	3	4					
A	13		25	数量関係(2)	百分率の意味について理解している						51.0	61.7	65
A	14	(1)	26	数量関係(4)	数量の関係について理解している						83.5	85.8	80
A	14	(2)	27	数量関係(4)	数量の関係について理解している						55.6	45.8	70
A	15	(1)	28	数量関係(4)	数量の関係を調べることができる						76.4	78.7	75
A	15	(2)	29	数量関係(4)	数量の関係を図に表すことができる						41.7	44.4	55
A	15	(3)	30	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる						48.0	50.2	50
B	1	(1)	1	数と計算(4)エ	同分母分数の減法の計算をすることができる						94.7	95.7	90
B	1	(2)	2	数と計算(3)ウ	小数の乗法の計算をすることができる						78.9	82.5	75
B	1	(3)	3	数と計算(3)ウ	小数の乗法の計算をすることができる						86.7	89.0	75
B	1	(4)	4	数と計算(3)ウ	小数の除法の計算をすることができる						72.9	72.1	70
B	2	(1)	5	数と計算(2)ア	十進位取り記数法の意味について理解している						88.4	88.8	80
B	2	(2)	6	数と計算(2)ア	十進位取り記数法の意味について理解している						83.2	83.9	75
B	2	(3)	7	数と計算(2)ア	十進位取り記数法の意味について理解している						81.8	76.4	75
B	3	(1)	8	数と計算(3)イ	余りのある小数の除法の意味について理解している						90.4	89.0	80
B	3	(2)	9	数と計算(3)ウ	余りのある小数の除法の意味について理解している						51.5	55.1	55
B	4		10	数と計算(3)イ	小数の乗法の計算の仕方について理解している						51.2	47.2	70
B	5		11	数と計算(5)	目的に応じて概算を活用することができる						78.8	76.0	80
B	6	(1)	12	量と測定(1)ア	三角形の面積の求め方について理解している						70.1	81.0	80
B	6	(2)	13	量と測定(1)ア	平行四辺形の面積の求め方について理解している						89.7	92.6	85
B	7		14	量と測定(1)ア	基本的な図形の面積の求め方を活用できる						28.3	31.6	50
B	8		15	量と測定(1)ア	三角形の面積の求め方を活用できる						52.1	60.5	60
B	9	(1)	16	図形(1)エ	円周率の意味について理解している						32.5	52.9	80
B	9	(2)	17	量と測定(1)イ	円の面積の求め方について理解している						48.8	61.5	70
B	10	(1)	18	図形(1)ウ	多角形の角の大きさの和の求め方について理解している						70.7	70.2	75
B	10	(2)	19	図形(1)ウ	多角形の角の大きさの和を考えることができる						41.2	41.9	50
B	10	(3)	20	図形(1)ウ	多角形の角の大きさの和を考えることができる						48.0	45.4	50
B	11		21	図形(1)イ	台形を作図することができる						70.5	70.1	65

表G-5 小学校算数第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
B	12	(1)	22	数量関係(2)	百分率の意味について理解している							30.3	50.0	55
B	12	(2)	23	数量関係(2)	百分率の意味について理解している							41.5	53.2	60
B	13	(1)	24	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる							93.4	91.6	75
B	13	(2)	25	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる							78.7	77.9	60
B	13	(3)	26	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる							73.0	66.8	80
B	14	あきら	27	数量関係(1)ア	四則に関して成り立つ性質について理解している							51.0	51.9	60
B	14	ひろ子	28	数量関係(1)ア	四則に関して成り立つ性質について理解している							59.8	61.5	60
C	1	(1)	1	数と計算(4)エ	同分母分数の減法の計算をすることができる							88.9	87.1	85
C	1	(2)	2	数と計算(3)ウ	小数の乗法の計算をすることができる							81.5	79.3	80
C	1	(3)	3	数と計算(3)ウ	小数の除法の計算をすることができる							63.6	71.3	65
C	1	(4)	4	数と計算(3)ウ	小数の加法と乗法の混合した計算をすることができる							46.1	57.2	60
C	2		5	数と計算(3)ア	小数の除法の意味について理解している							91.4	92.5	80
C	3		6	数と計算(3)イ	乗数と積、除数と商の関係について理解している							33.7	40.4	45
C	4		7	数と計算(3)イ	小数の乗法の意味について理解している							62.6	65.5	75
C	5	(1)	8	数と計算(4)イ	分数と小数の関係について理解している							87.3	89.9	90
C	5	(2)	9	数と計算(4)イ	分数と小数の関係について理解している							86.3	89.0	90
C	5	(3)	10	数と計算(4)イ	分数と小数の関係について理解している							50.5	53.0	60
C	6	(1)	11	数と計算(3)イ	小数の乗法計算の仕方を考えることができる							68.7	72.0	65
C	6	(2)	12	数と計算(3)イ	小数の乗法計算の仕方を考えることができる							44.4	45.9	60
C	7	(1)	13	量と測定(1)ア	三角形の面積の求め方について理解している							70.4	76.9	85
C	7	(2)	14	量と測定(1)ア	平行四辺形の面積の求め方について理解している							90.8	91.8	90
C	7	(3)	15	量と測定(1)イ	円の面積の求め方について理解している							50.2	55.6	75
C	8	(1)	16	量と測定(1)ア	基本的な図形の面積の求め方を活用できる							27.9	34.5	60
C	8	(2)	17	量と測定(1)ア	基本的な図形の面積の求め方を活用できる							31.9	38.5	60
C	9		18	量と測定(1)ア	三角形の面積の求め方を活用することができる							20.9	23.1	50
C	10	(1)	19	図形(1)エ	円周の求め方を活用することができる							42.0	42.7	50
C	10	(2)	20	図形(1)エ	円周の求め方を活用することができる							25.3	28.9	45

表G-5 小学校算数第5学年

冊子	問題番号	通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
					1	2	3	4					
C	11		21	図形(1)イ	平行四辺形を作図することができる						83.1	76.4	75
C	12		22	図形(1)ウ	多角形の角の大きさの和の求め方を考えることができる						56.5	51.5	55
C	13	(1)	23	数量関係(4)	数量の関係を式で表すことができる						59.8	60.5	70
C	13	(2)	24	数量関係(4)	数量の関係の式をよむことができる						77.1	75.6	50
C	13	(3)	25	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる						36.7	38.4	50
C	13	(3)	26	数量関係(4)	数量の関係についての問題を解決することができる						31.3	35.1	50
C	14	(1)	27	数量関係(3)	帯グラフをよむことができる						79.7	79.7	80
C	14	(2)	28	数量関係(3)	帯グラフをよむことができる						60.7	56.6	75
C	14	(3)	29	数量関係(3)	帯グラフの特徴について理解している						55.7	56.6	70

表G 個々の問題の概要及びその通過率

表G-7 小学校理科第5学年

評価の観点

- 1 自然事象への関心・意欲・態度
- 2 科学的な思考
- 3 観察・実験の技能・表現
- 4 自然事象についての知識・理解

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
A	1	(1)	1	A(1)イ	インゲンマメの発芽の条件について、仮説を基にして観察や実験を計画することができる。							86.7	82.4	70
A	1	(2)	2	A(1)イ	インゲンマメの発芽の条件について、仮説を基にして観察や実験を計画することができる。							80.5	76.8	70
A	2	(1)	3	A(1)ウ	インゲンマメが発芽した後に成長する様子から、成長に伴う植物体の変化を考察することができる。							66.1	67.8	60
A	2	(2)	4	A(1)ウ	インゲンマメが発芽した後に成長するときの、子葉の変化と養分の関係を考察することができる。							78.2	58.3	70
A	2	(3)	5	A(1)ウ	インゲンマメが発芽した後に成長するときの、子葉の変化と養分の関係を調べるための適切な実験方法を選択することができる。							83.0	71.4	70
A	3	(1)	6	A(1)エ	花粉を観察するために、顕微鏡を適切に操作することができる。							88.1	88.2	75
A	3	(2)	7	A(1)エ	花粉を観察するために、顕微鏡を適切に操作することができる。							68.9	73.4	70
A	3	(3) ア	8	A(1)エ	ヘチマの花では、ミツバチなどの花に集まる昆虫によって運ばれた花粉が、めしべの先に付くと結実することを理解している。							88.6	89.3	75
A	3	(3) イ	9	A(1)エ	ヘチマは、花粉がめしべの先に付くと結実することを理解している。							71.7	68.9	70
A	4A	(1)	10A	A(2)ア	メダカの卵は、日がたつにつれて中の様子が変化することを理解している。							83.8	83.9	75
A	4A	(2)	11A	A(2)ア	メダカの卵は、日がたつにつれて中の様子が変化することを理解している。							70.2	71.4	70
A	4B	(1)	10B	A(2)イ	人は、日がたつにつれて母体内で成長することを理解している。							88.1	83.9	75
A	4B	(2)	11B	A(2)イ	人は、日がたつにつれて母体内で成長することを理解している。							71.9	71.8	70
A	5	(1)	12	B(1)ア	水とうすい食塩水に食塩を入れた実験結果から、もとの液について推論することができる。							62.0	68.0	65
A	5	(2)	13	B(1)イ	食塩と水の量との関係を確かめる実験結果から、もとの液について推論することができる。							32.1	32.5	50
A	5	(3)	14	B(1)ア	食塩が水に溶ける量には限度があることや、水を蒸発させると溶けていた物が出てくることを理解している。							72.3	75.4	65
A	6	(1)	15	B(1)イ	食塩とホウ酸とミョウバンの溶ける量と水の温度の関係のグラフから、物によって溶ける量と析出する量が違うことについて考察することができる。							78.2	83.0	70

表G-7 小学校理科第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
A	6	(2)	16	B(1)イ	食塩とホウ酸とミョウバンの溶ける量と水の温度の関係のグラフから、物によって溶ける量と析出する量が違うことについて考察することができる。							58.8	61.9	60
A	7	(1)	17	B(2)ア	てこ実験器でのおもりの位置と重さの関係を数量的に処理することができる。							89.9	92.0	80
A	7	(2)	18	B(2)イ	てこ実験器でのおもりの位置と重さの関係を数量的に処理することができる。							66.3	67.9	80
A	7	(3)	19	B(2)イ	てこがつり合うときの規則性を式に表すことができる。							39.2	38.1	80
A	8A	(1)	20A	B(3)ア	振り子の運動の実験結果から、物の運動とおもりの重さの関係について考察することができる。							64.8	72.4	60
A	8A	(2)	21A	B(3)ア	振り子の運動の実験結果から、物の運動と糸の長さの関係について考察することができる。							71.1	75.7	60
A	8A	(3)	22A	B(3)ア	振り子の運動の実験結果から、物の運動とおもりの重さや糸の長さの関係について考察することができる。							66.4	69.8	60
A	8B	(1)	20B	B(3)イ	衝突の実験結果から、物の運動とおもりの重さの関係について考察することができる。							66.5	67.8	60
A	8B	(2)	21B	B(3)イ	衝突の実験結果から、物の運動とおもりの速さの関係について考察することができる。							59.1	61.6	60
A	8B	(3)	22B	B(3)イ	衝突の実験結果から、物の運動とおもりの重さやおもりの速さの関係について考察することができる。							47.1	48.3	60
A	9	(1)	23	C(1)イ	天気の変化に興味・関心をもち、その予想に必要な情報を収集することができる。							91.0	89.1	80
A	9	(2)	24	C(1)イ	天気の変化に興味・関心をもち、その予想に必要な情報を活用することができる。							78.8	81.0	70
A	10	(1)	25	C(1)イ	進路予想図を基にして、雲の動きの変化を推論することができる。							89.4	87.3	70
A	10	(2)	26	C(1)イ	台風による天気の変化に興味・関心をもち、雲の動きと天気の状況の関係について考察することができる。							47.9	44.4	60
A	10	(3)	27	C(1)イ	台風による天気の変化に興味・関心をもち、雲の動きと天気の状況の関係について考察することができる。							63.6	62.2	60
A	11	(1)	28	C(2)ア	モデル実験の結果を、実際の川の様子に適用することができる。							80.7	80.5	75
A	11	(2)	29	C(2)イ	川の曲がっているところでの、川の流れの様子を理解している。							74.1	75.6	70
A	11	(3)	30	C(2)イ	川の曲がっているところでの、川の流れの働きを理解している。							81.4	82.6	70
B	1	(1)	1	A(1)ア	本葉が出る頃のインゲンマメとその種子を比較し、各部位を対応させて考えることができる。							89.6	86.8	80
B	1	(2)	2	A(1)ア	インゲンマメは種子の中の養分を基にして発芽することを理解している。							93.9	93.6	90

表G-7 小学校理科第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
B	2	(1)	3	A(1)ウ	インゲンマメの成長には、肥料が関係することを理解している。							82.8	83.2	80
B	2	(2)	4	A(1)ウ	インゲンマメの成長には、日光が関係することを理解している。							86.3	81.0	80
B	2	(3)	5	A(1)ウ	インゲンマメの成長には、日光や肥料などが関係することを理解している。							60.7	58.6	75
B	3	(1) ア	6	A(1)エ	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。							78.4	80.1	80
B	3	(1) イ	7	A(1)エ	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。							95.1	93.9	80
B	3	(1) ウ	8	A(1)エ	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。							75.3	75.1	70
B	3	(1) エ	9	A(1)エ	花粉を観察するために顕微鏡のしくみがわかり、適切に操作することができる。							68.3	71.6	70
B	3	(2)	10	A(1)エ	花粉を観察するために、顕微鏡を適切に操作することができる。							64.3	65.2	70
B	4A	(1)	11A	A(2)ア	メダカの卵は日がたつにつれて中の様子の変化することを理解している。							69.8	67.7	70
B	4A	(2)	12A	A(2)ア	メダカの卵の中の変化の様子を推論することができる。							66.8	68.9	70
B	4A	(3)	13A	A(2)ア	メダカの雌雄の体の特徴についての知識を再生することができる。							72.6	75.2	70
B	4B	(1)	11B	A(2)イ	人は日がたつにつれて母体内で成長することを理解している。							80.6	77.7	70
B	4B	(2)	12B	A(2)イ	人の母体内での発生や成長の様子を推論することができる。							73.9	75.0	70
B	4B	(3)	13B	A(2)イ	人が母体内で母親から養分をもらって成長するしくみについての知識を再生することができる。							89.1	91.7	70
B	5	(1)	14	B(1)イ	水の温度の違いによるホウ酸の溶ける量を調べるために、条件を制御して実験を計画することができる。							60.1	61.6	65
B	5	(2)	15	B(1)イ	水の温度とホウ酸の溶ける量の関係を、表から読み取ることができる。							77.9	76.3	70
B	5	(3)	16	B(1)イ	ホウ酸が溶ける量を、水の温度と関係付けて考察することができる。							63.6	70.3	70
B	6	(1)	17	B(1)ウ	物が水に溶けるときの規則性から、砂糖が水に溶けたときの重さを予想することができる。							60.2	61.1	60
B	6	(2)	18	B(1)ウ	物が水に溶けても、水と物を合わせた重さは変わらないことを理解している。							61.0	60.7	60
B	7	(1)	19	B(2)イ	てこの働きを利用した道具に興味・関心をもち、その道具を適切に操作することができる。							73.6	73.8	70
B	7	(2)	20	B(2)イ	てこの働きを利用した道具に興味・関心をもち、てこのきまりを身近なてこに適用することができる。							54.0	53.0	65
B	7	(3)	21	B(2)イ	てこの働きを利用した道具に興味・関心をもち、てこ実験器でその働きを考え、図に表すことができる。							58.0	60.1	65
B	8A	(1)	22A	B(3)ア	ふりこの運動とおもりの重さの関係について調べる実験を、計画することができる。							53.7	58.1	70
B	8A	(2)	23A	B(3)ア	ふりこの運動と糸の長さの関係について調べる実験を、計画することができる。							57.8	61.0	70

表G-7 小学校理科第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
B	8B	(1)	22B	B(3)イ	衝突とおもりの重さの関係について調べる実験を、計画することができる。							56.8	56.8	70
B	8B	(2)	23B	B(3)イ	衝突とおもりの速さの関係について調べる実験を、計画することができる。							57.2	57.0	70
B	9	(1)	24	C(2)イ	雨の降り方によって変化する川の流れるの様子に興味・関心をもち、雨の降り方と流れる水の量の関係について考察することができる。							88.1	84.5	70
B	9	(2)	25	C(2)イ	雨の降り方によって変化する川の流れる様子に興味・関心をもち、川の増水により土地の様子が大きく変化することについて理解している。							68.0	73.5	70
B	10	(1)	26	C(1)ア	1日の気温の変化の表を、グラフに表すことができる。							88.1	89.1	80
B	10	(2)	27	C(1)ア	1日の気温の変化の表やグラフを基にして、天気の様子を推論することができる。							90.2	86.7	80
B	10	(3)	28	C(1)ア	1日の気温の変化の表やグラフを基にして、気温の変化と天気の様子を関係付けて考察することができる。							87.0	88.4	70
B	11	(1)	29	C(1)イ	台風における雲の動きと天気の変化を関係付けて、天気の様子を推論することができる。							80.3	82.3	75
B	11	(2)	30	C(1)イ	雲の動きと天気の状況の関係から、天気の子供ができることを理解している。							74.1	75.0	70
B	11	(3)	31	C(1)イ	台風における雲の動きと天気の変化を関係付けて、天気の様子を推論することができる。							75.8	70.1	70
C	1	(1)	1	A(1)ア	インゲンマメは種子の中でんぶんを基にして、発芽することを理解している。							69.2	61.9	70
C	1	(2)	2	A(1)ア	インゲンマメは種子の中でんぶんを基にして、発芽することを理解している。							69.0	66.1	70
C	2	(1)	3	A(1)ウ	インゲンマメの成長の条件の1つである日光に着目して、観察や実験を計画することができる。							81.8	76.6	70
C	2	(2)	4	A(1)ウ	インゲンマメの成長の条件の1つである肥料に着目して、観察や実験を計画することができる。							75.2	69.8	70
C	2	(3)	5	A(1)ウ	インゲンマメの成長には、日光や肥料などが関係することを理解している。							82.7	77.0	75
C	3	(1)	6	A(1)エ	ヘチマの結実に興味・関心をもち、子房の変化の要因を記録することができる。							78.3	83.9	90
C	3	(2)	7	A(1)エ	ヘチマの結実に興味・関心をもち、結実の条件に着目して観察や実験の結果を考察することができる。							71.4	74.2	70
C	3	(3)	8	A(1)エ	ヘチマの結実に興味・関心をもち、結実の条件に着目して適切な観察や実験の方法を選択することができる。							80.8	83.7	70
C	4A	(1)	9A	A(2)ア	メダカの卵は日がたつにつれて中の様子の変化することを理解している。							90.5	90.4	70
C	4A	(2)	10A	A(2)ア	メダカの卵の中には、育つための養分が含まれることを理解している。							87.8	88.9	90
C	4B	(1)	9B	A(2)イ	人は日がたつにつれて母体内で成長することを理解している。							83.7	83.6	70

表G-7 小学校理科第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
C	4B	(2)	10B	A(2)イ	人は母体内でへその緒を通して母親から養分をもらって成長することを理解している。							95.3	92.8	90
C	5	(1)	11	B(1)イ	水の温度とホウ酸の溶ける量の表を、グラフに表すことができる。							83.2	87.0	80
C	5	(2)	12	B(1)イ	水の温度とホウ酸の溶ける量の関係を、グラフから読み取ることができる。							66.0	67.3	60
C	5	(3)	13	B(1)イ	食塩とホウ酸の溶ける量と、水の温度との関係を考察することができる。							66.2	73.1	70
C	5	(4)	14	B(1)イ	水の温度を上げたときのホウ酸の溶ける量について、表やグラフを基にして推論することができる。							75.4	82.2	70
C	6		15	B(2)イ	てこの働きに興味・関心をもち、てこがつり合うときの規則性を考え、その様子を図に表すことができる。							69.1	67.0	60
C	7	(1)	16	B(2)イ	てこを使った実験結果から、てこのきまりについて考察することができる。							75.3	75.4	65
C	7	(2)	17	B(2)イ	てこを使った実験結果から、てこのきまりについて考察することができる。							80.0	78.6	65
C	7	(3)	18	B(2)イ	てこがつり合うときには、一定のきまりがあることを理解している。							60.7	61.4	65
C	7	(4)	19	B(2)イ	てこがつり合うときの規則性を理解している。							59.0	61.3	65
C	8A	(1)	20A	B(3)ア	振り子の運動の実験結果から、物の運動の変化とその要因との関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							64.2	68.2	70
C	8A	(2)	21A	B(3)ア	振り子の運動の実験結果から、物の運動の変化とその要因との関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							60.7	66.9	70
C	8B	(1)	20B	B(3)イ	衝突の運動の実験結果から、物の運動の変化とその要因との関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							66.0	66.5	70
C	8B	(2)	21B	B(3)イ	衝突の運動の実験結果から、物の運動の変化とその要因との関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							74.5	74.1	70
C	9	(1)	22	C(2)ア	モデル実験の結果を、実際の川の様子に適用することができる。							65.4	67.4	70
C	10	(1)	23	C(2)イ	条件を制御して、水量と流水の働きとの関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							61.6	57.5	65
C	10	(2)	24	C(2)イ	条件を制御して、流速と流水の働きとの関係について調べるための適切な実験方法を選択することができる。							64.0	61.4	65
C	10	(3)	25	C(2)イ	水量や流速を増すことによって、土を削る力が増すことを理解している。							70.3	67.3	65
C	11	(1)	26	C(1)イ	雲の動きの規則性と天気の変化を関係付けて、雲の動きを推論することができる。							83.5	82.8	70

表G-7 小学校理科第5学年

冊子	問題番号		通し番号	学習指導要領の内容	出題のねらい	評価の観点				過去問	記述式	栃木県通過率	全国通過率	設定通過率
						1	2	3	4					
C	11	(2)	27	C(1)イ	雲の動きの規則性と天気の変化を関係付けて、天気の様子を推論することができる。							51.8	64.7	70
C	11	(3)	28	C(1)イ	雲の動きと天気の状態の関係から、天気の予想ができることを理解している。							67.5	70.8	70